



訓練を行う子どもたち

## 保小中高合同避難訓練

5月23日(金)、中央保育所、入野小学校、大方中学校および大方高校の全児童・生徒らが、合同避難訓練を行いました。同訓練は、午前9時40分に巨大地震が発生するという想定で実施され、避難場所である錦野児童公園をめざしました。避難後、同公園では、高校生が用意した地震に関するクイズが行われ、地震に対する知識を深めました。

訓練後、大方高校2年生の古川祐那さんと佐竹緑風さんは、「保育園児らと避難したが、大変だった。避難道は塀が崩れそうな場所があり、危ないと思った。いつ起こるかわからないため、備えとして訓練が重要で、真剣に取り組まないといけないと感じた」と話しました。



八木選手(左)と大西町長(右)

## 八木敦士選手が町長を表敬訪問

5月22日(木)、町ゴルフツーリズムに事業開始時から協力をいただいているプロゴルファーであり、Kochi黒潮カントリークラブ支配人である八木敦士選手が来庁し、大西勝也町長を表敬訪問しました。

本訪問はあいさつとして毎年行われており、八木選手は、「ゴルフに携わって26年。その中でいろいろな方につながりを持たせてもらって今の自分がある。お世話になってきた方々に恩返しができるようゴルフを通じて地域の皆さんに元気を届けたい。皆さんにはゴルフを始めて続けてもらえるように、始めやすい環境を作っていければ」と話しました。



清掃の様子

## 郷土美化運動で駅清掃

6月8日(日)、郷土美化運動として黒潮町婦人連合会の皆さんが土佐入野駅と土佐佐賀駅の清掃を行いました。同運動は1年に1回行われ、今回は入野駅で19名、佐賀駅で3名の方が参加しました。

入野駅を清掃した同会会長の酒井恵子さんは、「協力のおかげできれいになった。婦人会の和も大事にして、若い方にも婦人会の活動や、人の和の大切さを知ってもらいたい」と話し、佐賀駅を清掃した同会副会長の水野佐知さんは、「地域の方からも『草が生えていて気になっていたから、清掃してもらえてありがたい』との声も聞けたので良かった。清掃をして気持ちがいい」と話しました。



研修会の様子

## 第69回母の日の集い及び研修会

5月24日(土)、黒潮町婦人連合会主催の「第69回母の日の集い及び研修会」が保健福祉センターで開催されました。同会は、自らの教養を高め人と人との和を大切にすることを目的として行われ、当日は55名の方が参加しました。

同会では入野小学校生徒の作文発表やあかつき賞受賞作品の朗読、黒潮町オンデマンドバス(くじらん)の紹介、大西勝也町長による「国際人道支援を経験して」と題した講演が行われました。